



かつ もく  
**刮目**

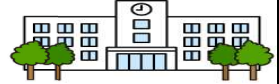
**学校教育目標**

**校訓**

**刮目 ～刮目の生徒・刮目の教師～**

～かけがえのない自己の人生に目を開き、  
たくましく自己実現していく生徒の育成～

**自主・剛健・高雅**



東金市立東金中学校 学校だより第38号

令和4年11月30日発行 文責：副校長 久我 和廣

**什（じゅう）の掟 - ならぬことはならぬ**

- 一、年長者（としうえ）の言ふことに背いてはなりません。
  - 一、年長者には御辞儀をしなければなりません。
  - 一、虚言（うそ）をいふ事はなりません。
  - 一、卑怯な振舞をしてはなりません。
  - 一、弱い者をいぢ（じ）めては成りませぬ
  - 一、戸外で物を食べてはなりません。
- ならぬことはならぬものです。



江戸時代の会津藩(福島県)では、十歳になると日新館という現在の学校のようなところに入って学問や武芸を習うことになっていました。まだ入れない六歳から九歳までの藩士の子もた

ちは、十人前後で、集まりをつくって勉強していました。この集まりのことを「什（じゅう）」と呼んでいました。この集まりの最後は、『ならぬことはならぬものです』という言葉で、締めくくられていたそうです。

『ならぬことはならぬものです』という言葉には、人として生きるためには、理屈や言い訳が通らない絶対にやってはいけないことがあるという意味が込められています。礼儀（あいさつ）がないこと、嘘をつくこと、弱い者いじめをすること等は、人として恥ずかしいことだと戒められていたそうです。物事を判断したり、行動したりするとき、家庭の基準や個人の基準があるはずで、会津藩の子もたちのように「嘘をつかない」、「自分がされて嫌なことは他人には決してしない」という基準もあるでしょう。基準は、家庭や人によってまちまちです。何より大切なことは、それぞれの基準が周囲の人を幸せな気持ちにし、自分をも高めるような基準になっているかということです。子どもたちは、これから多くの人と関わりながら生きていきます。いつも物事が、自分の思いどおりにいくとは限りません。反抗期を迎えるこの時期は、保護者の皆さんも子育てについて、様々な悩みを抱える時期でもあると思います。しかし、このような時期だからこそ、それぞれの家庭でしっかりとした基準を定め、『ならぬことはならぬものです』の教えを子どもたちに私たち大人が、教えていくことが必要なのではないでしょうか。子どもたちにはどのような時であっても、周囲の人のことを考え、我慢すべき時は我慢し友だちと心を通わせながら、楽しい中学校生活を過ごしてほしいと思います。（平成30年度学校だより21号から抜粋）

**給食試食会**

11月18日（金）  
本校会議室にて、保護者対象の給食試食会を実施いたしました。

当日のメニューは「地産地消デー」ということで、千葉県産の食材を使用したメニューでした。

牛乳、ひじきご飯、いわしごまフライ  
さつまいものサラダ、千葉の恵み汁、お米のムース



給食室での作業内容の紹介、朝食メニュー等食育の観点を含めた話し合い等を行いました。

**各種大会結果**

☆吹奏楽部

第28回日本管楽合奏コンテスト全国大会  
中学校A部門 優秀賞

☆ソフトボール部

東金市近隣中学校ソフトボール大会  
対 大網中・山武望洋中・成東東中合同  
24-4 勝利

対 旭二中

13-2 勝利  
優勝

☆新体操の部

千葉県中学校新人体育大会  
新体操団体 1位

☆ソフトテニス部男子

山武市秋季ソフトテニス大会  
1回戦 対 成東中 3-0 勝利  
2回戦 対 東金北中 2-0 勝利  
準決勝 対 芝山中 0-2 惜敗

3位

白子カップテニスソフトテニス大会  
中学2年生男子の部

3位 篠崎 隼 (2年4組)  
櫻井 和翔 (2年4組)